

ヘルパー便り



まごころが、ケアに入らせていただき、半年が過ぎました。要支援2のAさんは、家事援助、買い物で週2回入っています。

膠原病により手足のこわばりがあり、変形性腰椎症で腰痛の為歩行が不安定でした。気持ちの浮き沈みもあり、涙を見る場面もありました。訪問時は、ベッドで横になっておられる事も多々あったように思いました。

訪問していくうちに、笑顔が増えヘルパーとの信頼関係も出来てくると、段々と気持ちも前向きになりました。

今年に入って、「自分の事が、さっさとやれるようになりたい。」と目標を立てられ、実際目標を実行されてみえます。遠方の整形外科まで、自転車とバスと徒歩で往復され、人との交流も持たれ外出もされるようになりました。台所に立つ時間も増えているようで、自分で作れることが、喜びに繋がり、半年でこんなに変わられ明るくなられた姿を見ることができ、とても嬉しく思います。

今後もAさんの前向きな姿を見守っていききたいと思います。(高間)

～作品介绍～

多才な才能にあふれた、利用者様の水彩画、何枚か見せていただきました。どれも選別しがたく、その中で、春らしい画材を選びました。



きらり通信

ロゴ: きらりちゃん



まごころきらり始動!

新たに『重心型放課後デイサービスまごころきらり』を開設いたしました。重心型放デイとは、重症心身障がい児や医療ケアを必要とされているお子さんのための放課後デイサービスです。きらりでは、経験豊富な看護師と児童指導員で対応します。定員5名と少人数のため、行き届いた療育、体調管理や身体へのケア、安全をサポートしていけると思います。

関わるスタッフ全員が気持ちをひとつにし、温かく子どもたちを愛おしむ眼差しで、ご本人はもちろんご家族にも安心して頂けることを目標に支援を開始いたしました。

初日から、目の前の公園やグラウンドでお散歩したり、足湯などのリラクゼーションで、スタッフと場所に慣れて頂いています。子どもたちの少しの変化や成長に気付き、それぞれの良い所を伸ばしていけるよう、家庭的な温かいデイにしていきたいと思っています。まごころきらりをどうぞよろしくお願ひいたします。(大野)



早速、お誕生日をお祝いしました!



桜の木の下で📷

ケアマネジャーの目

自宅で最期を迎えたい

3月の穏やかな日に、Kさんは住み慣れた自宅で、娘さんに見守られながら天国に旅立たれました。

約10年前にアルツハイマー型認知症の診断を受け家族も大変な日々を過ごし入所に至りました。娘さんの(最期は家で過ごさせてあげたい)という思いで、入所していた施設から令和4年9月に自宅に戻られ、娘さんとの二人暮らしが始まりました。

最初に、福祉用具で電動ベッドや車椅子等を準備しました。自宅に戻られてからは、「かわいいね、おいしいね」と言葉数も多くなり、

毎日訪問するヘルパーや、看護師達まで笑顔にさせてくれました。

娘さんはお仕事をされており、朝・昼・午後・夕と1日4回ヘルパーが訪問し食事やオムツ交換などの日常生活の介助を行いました。又、寝たきりで自宅での入浴は難しい為、デイサービスで寝浴し、ご家族の介護休養の為に、ショートステイも定期的に利用しました。病院に通うことも難しい為、内科、歯科の医師が訪問診療を行って下さり、多職種連携により、安心して自宅で過ごすことが出来ました。娘さんの運転する福祉車両でお出かけしたり、孫やひ孫さんと触れ合ったりと賑やかに過ごされました。

時が来て、徐々に食べられなくなり、枯れるように自然に旅立たれた姿はとても潔く、関わらせて頂いた医療・介護の方々からは感謝の言葉が聞かれました。娘さんの「最期の時は、母の好きな家で私がそばにいてあげたい。」との願いが叶えられました。本当にお疲れさまでした。

～耳より情報～

第22回

杜の宮市

2024.5・4(土) 10:00~16:00

一宮市 真清田神社境内・宮前三八広場・本町商店街他

- ◆138のモノづくり
- ◆素材やマーケット
- ◆杜の学校
- ◆はんじょうアート
- ◆もりもりフードコート



～知っておきたいヘルパーの知識～

「介護の勉強会」

介護の現場では、知識と技術はもちろんのこと、人と人のかかわり合いが非常に大切です。しかし、そのような情報やスキルは、どこで学べばいいのでしょうか?その一つの方法が、介護の勉強会です。月一回行っている勉強会が、4月から新しい計画で始まりました。一回目は「BCPの基礎知識」でした。

長い間講師を務めて下さったOさんが、退職されることとなりました。本当にありがとうございました。たくさん学ばせてもらいました。

